



スポーツで笑顔と活力を創造する



第2期中期経営計画

2018年度 - 2021年度



NPO 法人 能代市体育協会

目次

はじめに

第1章 計画策定にあたって

1	第1期中期経営計画の振り返り	1
2	目標の達成状況	2
3	策定の主旨	4
4	能代市・秋田県・国の計画	4

第2章 計画内容

1	理念	5
2	ビジョン	5
3	基本方針	6
	（1）スポーツ参画人口の拡大	6
	（2）地域のスポーツ環境の基盤となる人材の育成と場の充実	7
	（3）競技力強化を支援する体制の確立	8
	（4）組織基盤の強化	9
4	目標	10

第3章 計画の推進

1	計画実施のための財源の確保と効率的・効果的な活用	11
2	計画の進捗状況の管理	11

はじめに

私たち能代市体育協会は、加盟団体をはじめとするスポーツ関係団体、行政や企業、その他多くの団体と連携してさまざまな事業を展開し、能代市におけるスポーツ推進の一翼を担う組織としての役割を着実に果たします。

第2期中期経営計画は、地域のニーズの把握とともに、課題とその対応策についての考察により構成します。

第1章では、第1期中期経営計画（2014年度～2017年度）の振り返りと第2期中期経営計画策定の趣旨、行政のスポーツ関連計画を取りまとめて示します。第2章では、当協会の理念から計画期間におけるすべての事業の根幹をなすビジョンと基本方針を設定します。第3章では、計画の進捗状況の管理と施策推進のあり方について示します。

旧能代市体育協会と旧二ツ井町体育協会との合併により、NPO法人能代市体育協会として活動を開始して、2020年3月には誕生10周年という節目を迎えます。この計画に基づく各種事業を実現していくことで、当協会の発展と地域の活性化につなげます。

第1章 計画策定にあたって

1 第1期中期経営計画の振り返り

第1期中期経営計画では、「地域住民のスポーツ参画の促進」と「組織の活性化及び効率化に向けた改革」という基本方針に基づき、進捗状況の分析・評価を行うことで業務の見直しや新規事業の立案等を年次計画に反映して進めてきました。

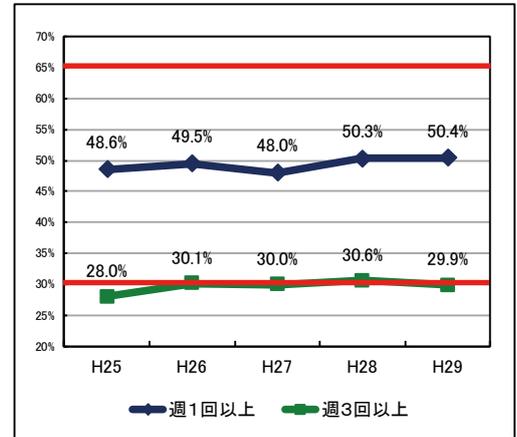
その結果、スポーツ教室、大会事業等への参加者を含め、指定管理施設の年間利用者数は増加し、また、利用者満足度を高めることができました。中心市街地における総合型地域スポーツクラブの設立や山本郡3町の体育協会との交流事業の継続実施、能代市スポーツ少年団本部の運営など、公益に資するスポーツ環境の充実においても、成果を収めることができました。

しかしながら、計画目標を100%達成することはできませんでした。厚生年金能代市体育館の廃止に伴う指定管理施設の減少や、競技団体活動の困難化、財源確保に向けた新たな取り組みを打ち出せていないことなどの、顕在化した課題への対応が求められます。

2 目標の達成状況

- ① 成人の週1回以上のスポーツ実施率が3人に2人（65%程度）、成人の週3回以上のスポーツ実施率が3人に1人（30%程度）となることを目標とする。

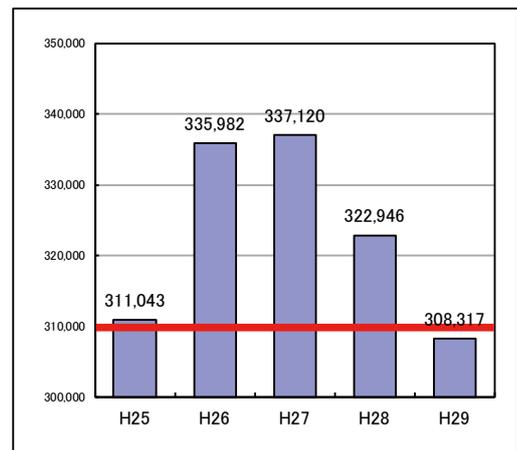
市民の、週1回以上の実施率は50%前後で推移し、目標に達しなかったものの、週3回以上の実施率は、平成26年度には30%を超えました。以降は、ほぼ30%という非常に高い水準を維持した推移となっています。平成28年度の全国平均は、週1回以上は42.5%、週3回以上は19.7%で、当市はそのどちらも上回り、特に、積極的に運動・スポーツに取り組む割合は高い結果となりました。今後は、スポーツ未実施者への働きかけや、実施率の低い年代のニーズと阻害要因を考慮した機会の提供が求められます。



スポーツ実施率

- ② スポーツ大会・イベント、教室事業等の参加者を含め、能代市体育協会が管理運営する施設のスポーツ利用者数が年間31万人以上となることを目標とする。

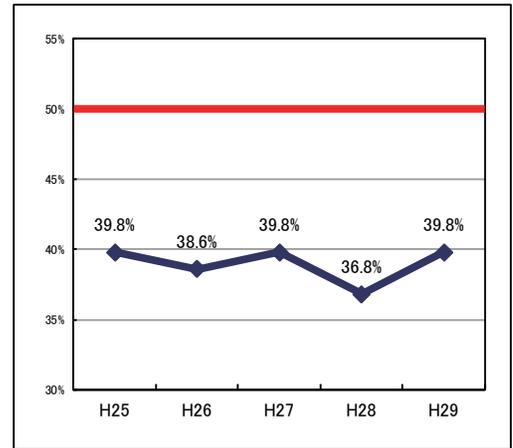
平成26年度から、主に能代市総合体育館とソフトボール場、陸上競技場の利用者が増え、目標とする31万人を超える方々にご利用いただくことができました。平成27年12月に、厚生年金能代市体育館の使用中止という目標設定時には想定していなかった事態もありましたが、施設整備やスポーツ教室の拡充などに努めました。今後も、人口減少、少子高齢化が進行する中、施設の有効利活用を促進するサービス・質の向上が必要です。



イベント参加者・施設利用者数

③ バスケットの街を他に誇れると思う市民の割合が50%となることを目標とする。

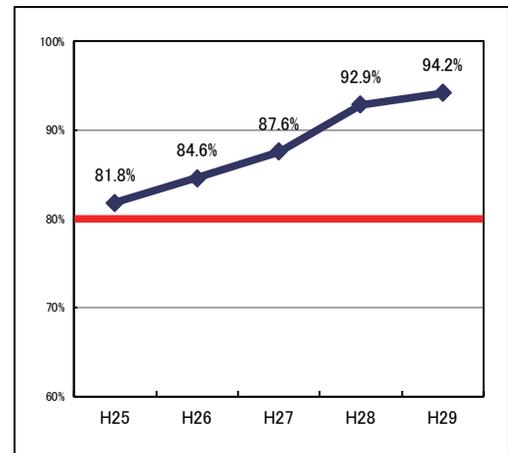
「秋田わか杉国体」が開催された平成19年から、他に誇れると思う市民の割合が減少傾向にある中、当計画期間においての市民割合の向上、目標の達成はできませんでした。今後は、バスケットの街づくりの根幹である能代工業高校バスケット部をはじめとする競技力強化への支援体制の構築と同時に、バスケットに関する事業の見直しや改善を図る必要があります。



バスケットの街を他に誇れると思う市民割合

④ 施設利用者アンケート満足度結果において4段階の評価のうち、「満足」「やや満足」の総合平均値が毎年80%以上となることを目標とする。

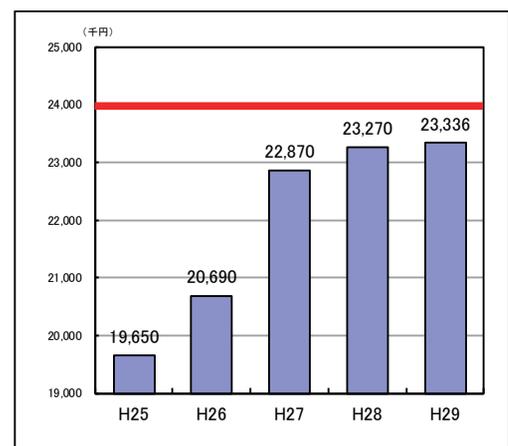
高い満足度を得られる結果となりました。9つのアンケート項目のうち、満足度の低かった「用具・器具等の備品」について計画的な整備を進めるとともに、今後も、参加者や利用者からのニーズを的確に捉えて、サービス・質の向上を図ることが重要です。



施設利用者満足度

⑤ 経常収入における自主的活動収入が24,000千円以上となることを目標とする。

平成26年度以降、事業委託金収入の増加などにより上昇しましたが、目標を達成することはできませんでした。能代市体育協会を取り巻く環境は今後も厳しさを増すことが想定されるため、安定的に財源を確保しなくてはなりません。

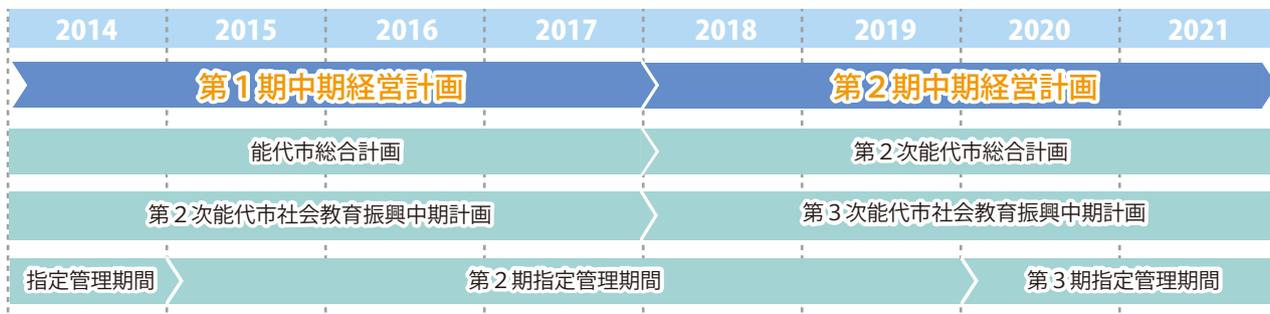


自主的活動収入

※自主的活動収入とは、経常収益から「補助金」「指定管理料」「交付金」「受取利息」「雑収益」を除いた額

3 策定の主旨

私たち能代市体育協会は、協会理念である「生涯にわたってスポーツを楽しめる健やかで明るい地域社会の実現」を具現化するために、様々な取り組みを総合的かつ計画的に推進すべく第2期中期経営計画を策定します。計画期間は、2018年度から2021年度までの4年間とします。



4 能代市・秋田県・国の計画

▶ 第2次能代市総合計画

2018年度～2027年度

能代市は、平成30年度からの新たなまちづくりの指針となる第2次能代市総合計画を策定しました。「健康をキーワードとした各分野の施策の推進」を重要課題の1つとしています。

▶ 第3次能代市社会教育振興中期計画

2018年度～2022年度

社会教育・生涯学習行政の取り組みを明らかにする計画です。基本方針の1つとして、気軽に親しみ楽しめる生涯スポーツの推進にあたって、「スポーツによって地域を元気にします（生涯スポーツの充実）」を掲げています。

▶ 能代市スポーツ推進計画

2015年度～2018年度

能代市総合計画の、主にスポーツ・健康づくりに関わる目標の達成に向け、関係団体などと連携・協働し推進するための計画です。

▶ 能代市のその他の計画

- ▶ 第2期のしる健康21計画
- ▶ 能代市バスケットの街づくり推進計画
- ▶ 能代市子ども・子育て支援事業計画
- ▶ 能代市高齢者福祉計画
- ▶ 能代市地域防災計画
- ▶ 能代市観光振興基本指針

▶ 第3期秋田県スポーツ推進計画「スポーツ立県あきた」推進プラン

2018年度～2021年度

スポーツを秋田の活力と発展のシンボルとし、生涯を通じた豊かなスポーツライフづくり、競技力のレベルアップによるスポーツ王国秋田の復活を目指す、平成21年の「スポーツ立県あきた」宣言の趣旨を具体化するために定められたスポーツ推進に関する計画です。

▶ 第2期スポーツ基本計画

2017年度～2021年度

スポーツに関して、理念を定め、国及び地方公共団体の責務並びにスポーツ団体の努力等を明らかにするとともに、スポーツに関する施策の基本となる事項を定めた「スポーツ基本法」に則り、今後の国のスポーツ施策の具体的な方向性を示す重要な指針として位置づけられるものです。

第2章 計画内容

1 理念 > 生涯にわたってスポーツを楽しめる
健やかで明るい地域社会の実現

2 ビジョン > スポーツで笑顔と活力を創造する

3 基本方針 >



スポーツ参画人口の拡大

- ①若年期から高齢期までライフステージに応じたスポーツ活動の推進
- ②幼児期からの子どもの運動習慣づくりの推進
- ③スポーツを通じた健康増進
- ④スポーツによる地域活性化と交流人口の拡大

地域のスポーツ環境の基盤となる人材の育成と場の充実

- ①スポーツに関わる多様な人材の育成と活躍の場の確保
- ②スポーツ施設の充実とスポーツに親しむ場の確保
- ③総合型地域スポーツクラブの充実に向けた支援

競技力強化を支援する体制の確立

- ①次世代アスリート育成支援
- ②競技力向上を支える人材の確保、育成支援

組織基盤の強化

- ①スポーツを支える組織の充実と関係団体等との連携
- ②効率的で効果的な組織運営の推進
- ③社会貢献活動
- ④自主財源の確保
- ⑤職員の資質向上

理念 組織の存在意義や使命を普遍的な形で表した基本的な価値観の表明です。当協会が社会に存在することの意義を協会内外に宣言するもので、経営の枠組みの最上位に位置づけられます。

ビジョン 未来に向けて組織の指針となるイメージ、価値、方向性、目標などを明確な言葉で表現したものです。理念で規定された経営姿勢や存在意義に基づき、ある時点までに「こうなりたい」と考える到達点、当協会がめざす中期的なイメージを示すものです。

基本方針 中期経営計画において当協会に求められる行動指針を示すもので、各々の事業活動は、この方針に沿ったものである必要があります。

基本
方針

スポーツ参画人口の拡大

1

ライフステージに応じたスポーツ活動の推進と環境整備を行い、成人のスポーツ実施率を週1回以上が65%程度、週3回以上が30%程度となることを目指す。また、生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現する資質・能力を育むために、地域における子どものスポーツ機会の拡充を図る。

① 若年期から高齢期までライフステージに応じたスポーツ活動の推進

地域住民が生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営む基盤として、誰もが日常的にスポーツに親しむ機会を充実する。

具体的取り組み

- ▶ 青・壮年期の日常的なスポーツ習慣の確立
- ▶ 中・高齢者のスポーツを通じた生きがいがづくり
- ▶ スポーツ未実施者への働きかけ

② 幼児期からの子どもの運動習慣づくりの推進

子どもが生活や遊びを通してスポーツに気軽に親しむことができるように、スポーツ環境の充実を図り、運動習慣づくりを推進する。

具体的取り組み

- ▶ 「幼児期運動指針」や「アクティブ・チャイルド・プログラム」の普及
- ▶ 運動遊びプログラムによる運動習慣づくり
- ▶ 放課後における子どものスポーツ機会の充実
- ▶ スポーツ少年団活動の活性化
- ▶ トップ・アスリートとの交流

③ スポーツを通じた健康増進

高齢者が楽しく継続的に取り組むことができる、生活習慣病の予防や介護予防、健康寿命の延伸に効果的なスポーツ・プログラムの普及を図る。

具体的取り組み

- ▶ 福祉分野と連携した健康づくり事業の実施
- ▶ 健康づくりのための軽運動・スポーツ教室の充実

④ スポーツによる地域活性化と交流人口の拡大

活力ある地域づくりの促進とスポーツ交流人口の拡大を図るため、スポーツ合宿や大会の開催、誘致を推進し、地域住民の一体感の醸成を目指す。

具体的取り組み

- ▶ 大規模スポーツ大会等の誘致・開催への支援
- ▶ 地域資源を活用したスポーツ・イベント等の開催
- ▶ 観光事業者等との連携強化



▲ アクティブ・チャイルド・プログラム



▲ バブルサッカー大会



▲ サマーリーグ

基本
方針

2

地域のスポーツ環境の基盤となる人材の育成と場の充実

総合型地域スポーツクラブマネージャーやスポーツリーダーバンク登録指導者、スポーツ少年団認定員などのスポーツ施策を推進する「人材」の資質向上を図るとともに、スポーツ施設やオープンスペース等のスポーツに親しむ「場」を含めた環境の整備を推進する。

① スポーツに関わる多様な人材の育成と活躍の場の確保

当協会が行う各種事業をはじめ公的スポーツ事業等に地域住民が積極的かつ自発的に関われる体制づくりや支援を行う。

具体的取り組み

- ▶ スポーツ及びレクリエーション指導者育成事業の実施
- ▶ スポーツ指導者の活動促進
- ▶ のしろスポーツボランティア（仮称）の立ち上げ

② スポーツ施設の充実とスポーツに親しむ場の確保

既存施設の適正な整備の促進を図るとともに、学校施設やオープンスペースなどの有効活用を推進する。

具体的取り組み

- ▶ 指定管理者の確実な指定獲得とサービスの向上
- ▶ 地域住民のスポーツ活動へのニーズの把握
- ▶ 行政に対する施設・設備等の要望

③ 総合型地域スポーツクラブの充実に向けた支援

さまざまな世代の方々が身近な地域で気軽にいろいろなスポーツを楽しめる環境の確立を目指し、総合型地域スポーツクラブを支援する。

具体的取り組み

- ▶ 自立的運営の促進支援
- ▶ 総合型地域スポーツクラブ間のネットワークづくり



▲ 海洋性レクリエーション指導員研修会



▲ ニツ井テニスコート



▲ スポーツクラブののしろの会員と指導者の交流会

基本
方針
3

競技力強化を支援する体制の確立

各競技団体が取り組む地域の将来有望なアスリートの発掘・育成において、競技力強化を支援する体制等を構築し、全国や世界のひのき舞台で活躍するアスリートの輩出を目指す。

① 次世代アスリート育成支援

各競技団体や関係機関と連携を図りながらジュニア層の強化事業を推進する。

具体的取り組み

- ▶ 全国や世界で活躍するアスリートやチームへの支援
- ▶ 第一線で活躍するコーチ及び選手等によるクリニックの実施
- ▶ 当協会加盟団体が主催・主管する競技会・大会等への支援・助成

② 競技力向上を支える人材の確保、育成支援

競技スポーツの指導・審判技術などの向上を目的に、加盟団体が開催する研修会等を支援する。

具体的取り組み

- ▶ 指導者技術向上補助事業の実施
- ▶ スポーツ医科学講座の充実



▲ ジュニア・アスリート育成事業



▲ スポーツ賞表彰



▲ スポーツ医科学研修講座



▲ 内海知秀氏講演会

基本方針 4

組織基盤の強化

社会情勢の変化に柔軟に対応したスポーツ推進及び競技力向上等に関する事業を戦略的に行い、スポーツを通じた明るく健康的なまちづくりの推進を図る上では、必然的に組織としての経営基盤の強化を促進することが不可欠であり、組織改革、自主財源の確保を追求する。

① スポーツを支える組織の充実と関係団体等との連携

加盟団体をはじめ、スポーツ大会、イベントの運営サポートを担う団体や組織等との連携強化による組織活動の充実を図る。

② 効率的で効果的な組織運営の推進

事務局職員並びに指定管理施設職員の配置の合理化と組織体制の強化、役員会及び理事会、専門委員会による計画進捗管理体制の確立を図る。

③ 社会貢献活動

NPO法人として、また、市スポーツ施設の指定管理者として、公益に資する活動に主体的に取り組む。

④ 自主財源の確保

地域が抱える課題や変化を乗り越え、実状に即した公益事業を計画的に実行していくために、事業の見直しやコスト削減、増収方策による自主財源の確保を図る。

⑤ 職員の資質向上

職員の業務意識の高揚と職場意識を向上し、地域住民の多様なニーズに応え、サービスの質を高めるため、各種研修によって職員の育成を図る。



▲ 新春の集い



▲ ドッジボール大会



▲ 普通救命講習

4 目標

目標

1

成人の週1回以上のスポーツ実施率が3人に2人（65%程度）、成人の週3回以上のスポーツ実施率が3人に1人（30%程度）となることを目標とする。

目標

2

事業参加者数及び指定管理施設のスポーツ利用者数が年間31万人以上を維持することを目標とする。

目標

3

NPO法人能代市体育協会スポーツ賞〔栄光賞・奨励賞・生涯スポーツ賞〕表彰数が12件以上となることを目標とする。

平成29年度 6件 … 栄光賞／個人4件 奨励賞／個人2件

平成28年度 10件 … 栄光賞／個人5件 奨励賞／個人4件・団体1件

平成27年度 11件 … 栄光賞／個人5件・団体2件 奨励賞／個人4件

平成26年度 10件 … 栄光賞／個人5件 奨励賞／個人2件

生涯スポーツ賞／個人2件・団体1件

目標

4

経常収入における自主的活動収入が2千4百万円以上となることを目標とする。

第3章 計画の推進

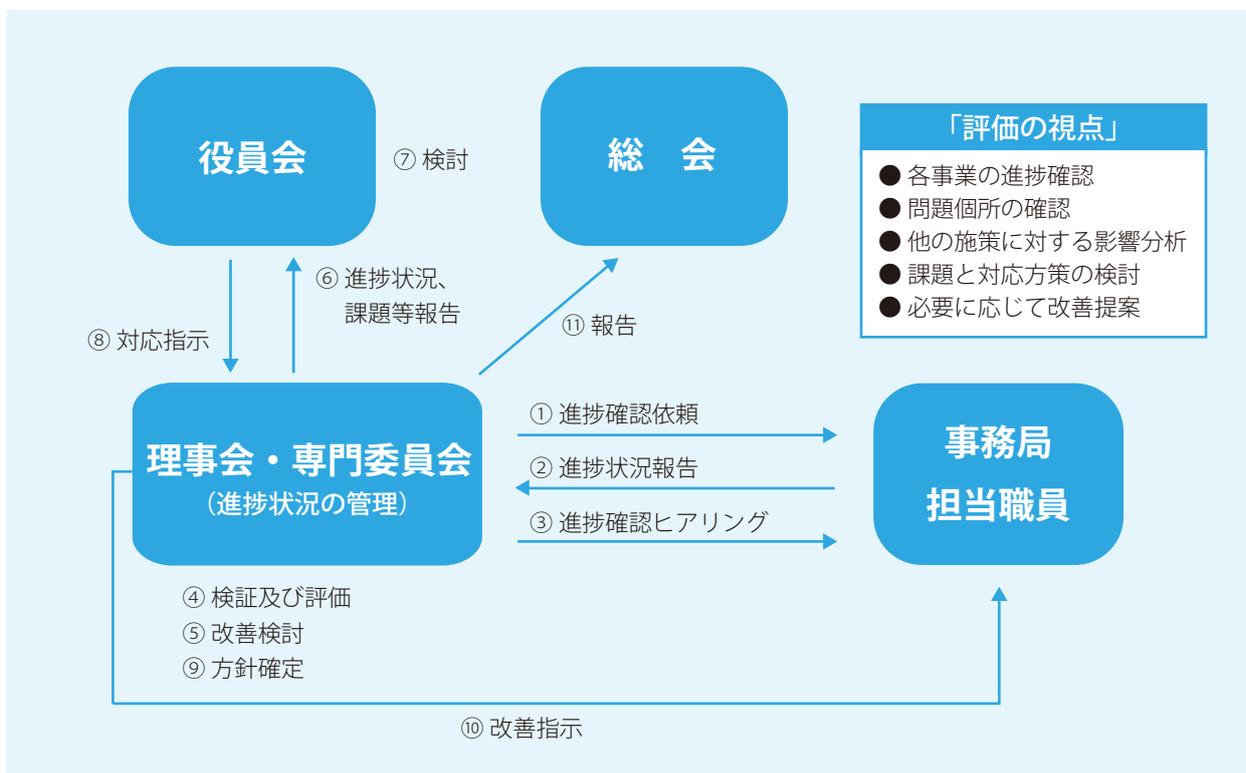
1 計画実施のための財源の確保と効率的・効果的な活用

能代市体育協会が発展していくためには、新規事業に取り組むとともに、第3期指定管理者の指定を確実に獲得する必要があります。安定的な財源の確保によって、地域のニーズや社会動向の変化を把握して迅速に対応することのできるよう、予算の効率的・効果的な活用に努め、かつ、持続可能な組織運営の確立を目指します。

2 計画の進捗状況の管理

本計画の進捗状況について、適切なデータを基にした定期的な検証を行うことにより、PDCAサイクルを確立して推進します。PDCAサイクルでは、評価と改善実施が特に重要となります。必要な場合には、計画期間内であっても成果指標や具体的取り組みなどを見直し、検証結果は計画改善に確実に反映します。

- ① 中期経営計画に関する進捗管理体制の主体は、役員会及び理事会とする。
- ② 施策の種類や内容により、報告サイクルは四半期・半期・年度等に明確に分けて行い、進捗管理の徹底を図る。
- ③ 数値目標以外の進捗把握も重要であり、状況確認を踏まえ、必要に応じて計画修正等も実施していく。



PDCA体制イメージ